平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名　クニミネ工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5388　URL http://www.kunimine.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）國峯　保彦
問合せ先責任者（役職名）取締役経営戦略部長　（氏名）川島　利昭　TEL 03-3866-7255
四半期報告書提出予定日　平成26年11月7日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（アナリスト・マスコミ向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,408	3.0	426	△2.2	521	0.1	314	1.4
26年3月期第2四半期	5,253	2.9	436	17.4	521	13.0	309	10.5

（注）包括利益　27年3月期第2四半期　382百万円　（△18.1%）　26年3月期第2四半期　466百万円　（71.1%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	25.66	—
26年3月期第2四半期	25.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	15,036	12,400	81.4
26年3月期	15,283	12,203	78.8

（参考）自己資本　27年3月期第2四半期　12,238百万円　26年3月期　12,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—			
27年3月期（予想）			—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想（平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,549	4.2	1,596	4.9	1,746	1.3	1,056	△1.8	86.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	14,450,000 株	26年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,211,435 株	26年3月期	2,209,958 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	12,239,624 株	26年3月期2Q	12,240,613 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）　……　Ｐ１
２．連結業績予想などの将来予測情報に関する説明　……　Ｐ２
３．サマリー情報（注記事項）に関する事項　……　Ｐ２
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　……　Ｐ２
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　……　Ｐ２
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示　……　Ｐ２
４．四半期連結財務諸表　……　Ｐ３
（１）四半期連結貸借対照表　……　Ｐ３
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書　……　Ｐ５
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項　……　Ｐ７
（継続企業の前提に関する注記）　……　Ｐ７
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）　……　Ｐ７
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）　……　Ｐ７
（セグメント情報等）　……　Ｐ８

１．当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、日銀の積極的な金融緩和に伴う円安・株高を背景に企業心理が小幅ながらも改善方向に転じ、緩やかな回復基調が続きましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や物価上昇に伴う実質所得低下の影響などにより、弱い動きもみられました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車の国内生産台数は好調に推移しておりますが、建機等は輸出向け等で減少が続いており、土木建築業界において、地熱向けや止水材が好調に推移しているものの、アグリ事業において消費税率引き上げによる反動減があったこと等により、全体としては厳しい状況で推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込み、郡山工場と小名浜工場のシナジー効果の発揮を継続して推進するとともに、電力料金の値上げや円安基調に伴う原材料価格の上昇に対して原価の上昇を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門が増収となったものの、採算性の高いアグリ事業部門や化成品事業部門の減益により、売上高は54億８百万円（前年同期比 3.0％増）、営業利益は４億26百万円（同 2.2％減）となりました。経常利益は為替差益が前期の８百万円から当期は37百万円に増加したこと等により５億21百万円（同 0.1％増）となり、四半期純利益は３億14百万円（同 1.4％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、消費税率引き上げ後の反動減は軽微にとどまり、乗用車や商用車の需要に伴い国内生産台数が好調、増収となりました。土木建築関係は、地熱向けが大幅に増加、止水材が海外向けに増加したこと等により増収となりました。ペット関係は、消費税率引き上げ後の反動減はあったものの、猫砂市場の全体的な持ち直しにより横這いで推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は40億48百万円（前年同期比 3.3％増）、セグメント利益は５億50百万円（同 16.4％増）となりました。

② アグリ事業

農薬受託加工において、既存農薬は消費税率引き上げによる生産前倒しの反動があったものの、農薬向けクニピアが好調に推移し増収となりましたが、設備新設にかかる減価償却費等の増加により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は８億53百万円（同 1.1％増）、セグメント利益は34百万円（同59.9％減）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうち吸着用輸出向けクニピアで増収し、環境保全処理剤が横這いで推移したことにより全体として増収となりましたが、採算性の高い化粧品向けクニピア等での減収が響き減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は５億６百万円（同 3.6％増）、セグメント利益は37百万円（同31.1％減）となりました。

２．連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期連結累計期間における業績は堅調に推移しており、主力のベントナイト事業部門において売上が増加しておりますが、円安が原材料価格や燃料費等原価を圧迫し始める等、当社グループを取りまく環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられ、前回発表（平成26年５月９日）の業績予想の変更はありません。

３．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

②　①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③　会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④　修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,786	3,683,384
受取手形及び売掛金	3,850,081	3,301,858
有価証券	203,853	216,924
商品及び製品	331,011	307,246
仕掛品	245,389	286,126
原材料及び貯蔵品	1,260,479	1,006,286
その他	163,617	158,040
貸倒引当金	△1,788	△3,172
流動資産合計	9,202,430	8,956,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,439,971	1,423,631
機械装置及び運搬具（純額）	1,133,012	1,060,745
土地	1,780,254	1,780,254
リース資産（純額）	68,063	61,728
その他（純額）	77,509	70,060
有形固定資産合計	4,498,811	4,396,421
無形固定資産	117,551	119,142
投資その他の資産	1,465,171	1,564,403
固定資産合計	6,081,534	6,079,967
資産合計	15,283,965	15,036,661
負債の部		
流動負債		
買掛金	787,664	667,733
短期借入金	99,300	26,100
未払法人税等	468,943	158,623
賞与引当金	144,433	133,764
その他	575,529	610,479
流動負債合計	2,075,870	1,596,700
固定負債		
退職給付に係る負債	12,300	12,001
閉山費用引当金	484,721	487,334
環境対策引当金	490	490
資産除去債務	23,494	23,494
その他	483,584	515,655
固定負債合計	1,004,592	1,038,976
負債合計	3,080,463	2,635,677

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,223,224	2,223,224
利益剰余金	8,448,112	8,578,628
自己株式	△526,487	△527,518
株主資本合計	11,762,649	11,892,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,367	332,770
繰延ヘッジ損益	△619	16,614
為替換算調整勘定	12,628	△3,004
その他の包括利益累計額合計	279,376	346,381
少数株主持分	161,476	162,468
純資産合計	12,203,502	12,400,984
負債純資産合計	15,283,965	15,036,661

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）
売上高	5,253,604	5,408,667
売上原価	3,579,600	3,747,915
売上総利益	1,674,004	1,660,751
販売費及び一般管理費	1,237,443	1,234,000
営業利益	436,560	426,750
営業外収益		
受取利息	804	352
受取配当金	63,107	51,920
為替差益	8,549	37,279
貸倒引当金戻入額	11	－
その他	18,676	10,059
営業外収益合計	91,150	99,611
営業外費用		
支払利息	2,492	2,068
コミットメントフィー	1,479	1,467
その他	2,362	1,108
営業外費用合計	6,334	4,645
経常利益	521,375	521,716
特別利益		
固定資産売却益	8,038	249
特別利益合計	8,038	249
特別損失		
固定資産除却損	8,363	17,071
特別損失合計	8,363	17,071
税金等調整前四半期純利益	521,050	504,894
法人税、住民税及び事業税	158,905	163,274
法人税等調整額	42,698	20,257
法人税等合計	201,604	183,532
少数株主損益調整前四半期純利益	319,446	321,362
少数株主利益	9,758	7,245
四半期純利益	309,688	314,116

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	319,446	321,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,358	65,403
繰延ヘッジ損益	2,724	17,234
為替換算調整勘定	55,916	△21,886
その他の包括利益合計	146,999	60,751
四半期包括利益	466,445	382,113
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,710	381,121
少数株主に係る四半期包括利益	25,734	992

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

第２四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）
減価償却費	247,145千円	266,146千円

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,920,052	844,581	488,970	5,253,604	－	5,253,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,468	－	24,536	56,004	(56,004)	－
計	3,951,521	844,581	513,506	5,309,609	(56,004)	5,253,604
セグメント利益	472,789	85,570	54,959	613,319	(176,758)	436,560

（注）１．セグメント利益の調整額△ 176,758千円には、セグメント間取引消去 11,905千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 223,999千円及び棚卸資産の調整額 35,334千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成26年４月１日 至平成26年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,048,618	853,424	506,623	5,408,667	－	5,408,667
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,551	－	41,239	66,790	(66,790)	－
計	4,074,169	853,424	547,862	5,475,457	(66,790)	5,408,667
セグメント利益	550,118	34,333	37,862	622,313	(195,562)	426,750

（注）１．セグメント利益の調整額△ 195,562千円には、セグメント間取引消去 363千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 226,742千円及び棚卸資産の調整額 30,815千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する情報

第１四半期連結会計期間より、平成26年４月１日付の組織変更において簡易的な事業部制を採用するとともに、事業分野毎に各製品群の整理・統合等を行っております。これにより、「化成品事業」の区分に属していた止水材は「ベントナイト事業」に、農薬用途向け純モンモリロナイトは「アグリ事業」へ、所属する区分をそれぞれ変更しております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各事業の主な製品およびサービスの内容は以下のとおりであります。

(1) ベントナイト事業・・・鋳物用、土木建築用、ペット用トイレ砂等のベントナイト、調泥剤、止水材

(2) アグリ事業・・・農薬加工、農薬基剤及び農薬加工原材料、農業資材等、飼料等、土壌改良剤、農薬用途向け純モンモリロナイト

(3) 化成品事業・・・純モンモリロナイト、吸着剤、環境保全処理剤